

2007年6月20日
株式会社三越

三越「セカンドライフ」店、7月19日(木)オープン!

~日本の百貨店で初めて、仮想空間サービスに出店します~

株式会社三越(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石塚邦雄)は、7月19日(木)、日本の百貨店として初めて3D仮想空間サービス「セカンドライフ」(「Second Life(<http://secondlife.com/world/jp/>)」)に出店いたします。

三越は、『「上質な暮らしを求める大人」のゆたかなときを創造することにより最もブランド価値の高い企業を目指す。』との企業ビジョンの下、2007年度より中長期経営計画「三越 ブランド ルネサンス 6ヵ年計画」を展開しております。

現在、同計画における大きな柱のひとつとして、お客様と様々な場面で接点を拡大し、お客様のライフスタイルに応じた商品・サービスをご提案する「ワンストップ・オンデマンド」のビジネスモデルの構築を順次進めており、今回の「セカンドライフ」への出店は、今後拡大・成長が予想される仮想空間にあっても、他社に先駆けてそのノウハウを蓄積し、いち早くお客様のニーズにお応えできる態勢を作ることを目的としたものです。

また、この仮想空間への出店は、「社会的貢献と企業の繁栄」「まごころと創意工夫」「伝統を越える革新性」という三つの企業理念を掲げる三越にとって、まさに『伝統を越える』新しいビジネスモデルの構築にチャレンジする意思の具体化でもあります。

店舗概要

店名	三越セカンドライフ店
開店年月日	2007年7月19日(木)午前10時
営業時間	24時間オープン
住 所	日本語エリア“Japan Islands” の中心部 日本語での情報交換やコミュニケーションを主体とした、一般ユーザーと法人企業が混在したエリア。
店舗面積	約10,000㎡(予定)
売上目標	オープン当初はセカンドライフ店での物販は実施しない(今後については検討中)。 リンクによる三越サイトでの売上目標は4,000万円(開店後1年間)
来客目標	12万人(開店後1年間)
店舗構成	「歴史ゾーン」と「未来ゾーン」の2館体制 「歴史ゾーン」 ・ 越後屋呉服店の座売りのイメージを再現した建物の中で、アバター(仮想空間におけるユーザーの分身)が持ち運び出来るオブジェクト 写真 として、越後屋

印の陣笠や扇子、はっぴなど越後屋グッズを陳列し、無料で配布。

- ・ 越後屋の番頭ロボットがお出迎えするなど、仮想空間ならではの様々な趣向を凝らしてアバターを楽しませます。

今後、サービスを拡充していきます。

「未来ゾーン」

- ・ 歴史ゾーンの上層には、未来の三越をイメージした外観の建物が空中に浮かんでおり、三越ならではのリアルな『モノ』と『コト』をご案内いたします。
- ・ 『モノ』では、リアルな三越オンラインショッピングへリンクする誘導看板を設置し、各ショップへご案内いたします。(中元や敬老の日などの歳時記ギフトやブランドショップ、化粧品など)
- ・ 『コト』では、日本橋三越本店が提供するリアルな各種サービスのWebサイトへリンクする誘導看板を設置し、ご紹介していく予定です。(カルチャーサロン、トラベルサロン、三越劇場など)

7月19日の時点では、「歴史ゾーン」を先行オープン。「未来ゾーン」の各サービスは順次開始する予定です。

店舗イメージ

歴史ゾーン

(外観イメージ)



(内観イメージ)



未来ゾーン

(外観イメージ) オープン時には変更になることがあります。



オブジェクト例

(はっぴ&扇子)



(はっぴ&陣笠)



セカンドライフとは

セカンドライフとは、米リンデン・ラボ社が 2003 年に提供を開始したインターネット上の 3D 仮想空間です。3次元CGによるクオリティの高さを背景に、既にユーザーは 2007 年 6 月現在で 700 万人を越えるなど、欧米を中心に拡大中で、現時点では英語版のサービスのみの提供ですが、日本語版サービスが開始された際には、日本人ユーザーが急増するものと予想されます。

参加者はアバターと呼ばれる自分の分身を操って現実世界とは異なる仮想空間を擬似的に体験することが出来ます。例えば自分の容姿をカスタマイズしたり、他人と会話(チャット)し、仮想通貨「リンデンドル」を使いモノを売買することが可能です。ホームページで会員登録し、アプリケーションをダウンロードすることで誰でも利用が可能です。

今回、三越は「セカンドライフ」内で開発される日本語エリア“Japan Islands” の中心部に outpost を決定いたしました。日本語での情報交換やコミュニケーションを主体とした、一般ユーザーと法人企業が混在したエリア。

本件に関するお問合せ先は

株式会社 三越 コーポレート推進室 広報担当 03-3274-8007 FAX03-3241-5298